【事前課題１】サービス（支援）提供事業所としての自己検証（振り返りシート）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受講番号 |  | ※受講番号は受講決定通知書に記載してあります |
| 事業所名 |  |
| サービス（支援）の種類 |  |
| 氏名 |  |

以下の事項について、事業所での取り組みを振り返り（更新研修２回目の方は前回研修時からの改善点を加えて、初回の方は過去１年程度）、記載してください）

※未記入の箇所があると、再提出をお願いすることとなりますので、必要箇所は全て記載ください。

|  |
| --- |
| 組織体制の取組の良いところ（事業所だけでなく法人全体の取組も含みます） |
|  |
| 組織体制の取組の良いと思う理由 |
|  |
| チームワークの取組の良いところ |
|  |
| チームワークの取組の良いと思う理由 |
|  |
| 障害福祉サービス等情報公表システムへの報告について　※当てはまるものに〇してください |
| 情報公表システムは年１回の定期的な報告が求められています。1.法人の担当者が報告している　　2.自分が報告している　　3.分からない4.報告していない |

【事前課題２】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者

振り返りシート（自己検証用）

前回の更新研修受講後から、改善したことや積極的に取り組んでいることを記入してください。

|  |
| --- |
|  |

以下の事項について、更新研修２回目の方は前回研修時からの改善点を、初回の方は現時点から一年程度を振り返り、記載してください。サービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者として従事していない受講者は以下の点をご留意ください。

・現にサービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者として従事していない受講者は、直近に従事していた際を振り返って記入すること。

・サービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者としての経験が一度もない受講者は、「勤務事業所のサービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者」を想定して記入すること。

・現に相談支援専門員として従事している者は、相談支援専門員としてではなく、法人、事業所のサービス管理責任者又は児童発達支援管理責任者である場合を想定して記入すること。

・事前課題に記載されている注意事項等をよく読み記載すること。

※このシートは、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者(以下、サビ児管)に求められている役割について、自らが現時点でどのように遂行しているかを振り返り、どのようにすればさらに質の高い取り組みができるかを確認するためのものです。審査をするものではなく、自己を振り返るものですので、ありのままに自分の考えや認識を記入してください。なお、0～5の各段階は、絶対評価の「点数」ではなく、あくまでも自己検証用の段階（目安）ですので、考えすぎずに直感的につけてください。

２-１．個別支援計画の作成について

（１）個別支援計画の作成について

あなたは担当した利用児・者の個別支援計画を作成する際、自己決定や意思決定支援に配慮した計画作成ができていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～５点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の方はどのようにすれば5点に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

意思決定支援について、実際にどのような取組みや工夫をしていますか？内容を記入してください。

|  |
| --- |
|  |

（２）モニタリング（個別支援計画の評価・見直し）について

サビ児管は計画を作成すると同時に、利用児・者や環境の変化に対応するなど、その計画の見直しを行い、さらに質の高いサービス(支援)提供に反映させる業務も重要です。個別支援計画のモニタリングを法令に定められた期間で定期的に行っていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

 どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～５点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

個別支援会議には利用者が参加していますか？※令和６年度より、個別支援会議に利用者本人が原則参加することが求められます（児童サービスを除く）。

1.参加している　　2.参加していない　3.分からない

4.その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　　）

個別支援会議の参加者を記入してください。

|  |
| --- |
|  |

（３）利用者への説明と同意、書面計画書の交付について

個別支援計画を作成した時やモニタリング時などに、利用児・者に書面で計画書を交付し、丁寧に本人にわかりやすく説明を行うなどして理解を得ていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

作成した個別支援計画を相談支援事業所へ交付していますか？※令和６年度より義務化されました（全てのサービス）

1.交付している　　2.交付していない　　3.分からない

4.その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　）

２-２．記録について

他者への説明責任を果たすためや事故等の未然防止のため、日々の記録はとても重要と言われています。日常的な支援の記録や家族との連絡など、業務日誌や個人台帳等の記録を整備し保存していますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

２-３．会議（法人内部）について

職員間の連携や事業所全体での検討が必要な事項については、会議の活用が必要となります。定期的に職員会議やサービス(支援)向上や改善のための会議（事例検討会等）が行われていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

２-４．他の従業者に対する技術指導及び助言について

（１）日常業務での助言・指導について

人材育成の視点を常に持ち、必要な従業者に対し、助言・指導やバックアップ(心理的サポート等)を適時行っていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)にして点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

（２）上記の業務を組織として行える体制整備について

日常業務での助言・指導やバックアップなどの人材育成の取り組みを、自身(サビ児管)だけでなく、組織全体で取り組む体制を作り、行っていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

２-５．苦情解決について

利用児・者やその家族から要望や苦情が出ることはマイナスな事柄と限定的に判断せず、サービス(支援)の向上のためのきっかけや気づきをいただけたと前向きな姿勢で受け止めることが大切です。日頃より出された要望や苦情に耳を傾け、適切な処理や対応ができていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

苦情を解決するための処理体制や手順を把握していますか？

1. 把握している　→内容を簡潔に記載してください。　2.把握していない

|  |
| --- |
|  |

２-６．虐待・身体拘束防止について

日頃から職員の業務や職場での様子に注意深く目を向け、いわゆる不適切な言動などに注意し、虐待・身体拘束の防止や不適切な支援の芽を早期に摘むような行動ができていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

さらに良くするためにはどのようにしたらいいでしょうか？（5点未満の人はどのようにすれば5点

に近づけるでしょうか？5点をつけた方はその根拠について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

虐待・身体拘束の発生を防止するための委員会、研修を開催していますか？

※令和４年より義務化され、未実施の場合減算が適用されます。

1.開催している　　2.開催していない　　3.分からない

4.その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　）

虐待・身体拘束の発生防止について。実際にどのような取組みをしていますか？内容を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

２-７．機密の保持について

利用児・者から得た情報は、支援に有効に活用されるために収集されるものです。利用者(児童期は保護者)の許可なき第三者への提供や外部への漏洩がない対応や体制作りが必要となります。個人情報管理についてルールが作られ、職員全員が認識し、適正な扱いが行われていますか？　5段階であらわすとしたとき、最も自分の状況に近い数字に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

どのようなことを理由(根拠)や視点で点数(０～5点)をつけましたか？

|  |
| --- |
|  |

【事前課題３】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者

振り返りシート（連携用）

以下の事項について、更新研修２回目の方は前回研修時からの改善点を、初回の方は現時点から一年程度を振り返り、記載してください。

※この振り返りシートは、サビ児管としての業務を振り返り、できている点について現状を維持し、さらに伸ばしたり、現状よりも質の高い連携を行うためにはどのようにすればよいかの気づきを得るために行うものです。審査をするものではなく、自己を振り返るものですので、ありのままに自分の考えや認識を記入してください。なお、0～5の各段階は、絶対評価の「点数」ではなく、あくまでも自己検証用の段階（目安）ですので、考えすぎずに直感的につけてください。

３-１．関係機関(行政・社会福祉協議会・地域・企業・学校・医療機関・他の福祉事業所等)との連携

利用児・者の生活はひとつの福祉サービスだけで成り立っているわけではありません。そのため、サビ児管は必要に応じ、関係機関との連携が重要な業務となります。あなたは日頃、関係機関との連携を意識した業務を行っていますか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

連携できていることと、その理由を記入してください

|  |
| --- |
|  |

連携できていないことと、その理由を記入してください

|  |
| --- |
|  |

関係機関との連携が効果的であった実践概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

今後の目標や、具体的な取り組みについて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

３-２．相談支援専門員との連携

利用児・者の希望する生活を実現していくためには、連携する関係者の中で、相談支援専門員との連携は特に重要と言われています。相談支援専門員との連携はできているでしょうか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

連携できていることと、その理由を記入してください

|  |
| --- |
|  |

連携できていないことと、その理由を記入してください

|  |
| --- |
|  |

相談支援専門員との連携が効果的であった実践概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

今後の目標や、具体的な取り組みについて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

相談支援専門員からサービス等利用計画を交付されていますか？

1.交付されている　　2.交付されていない　　3.分からない

4.その他（内容：　　　　　　　　　　　　　　）

３-３．担当者会議（個別支援会議）の開催について

様々な機関や担当者との具体的な連携の場として、担当者会議（個別支援会議）が想定されています。利用児・者の状態や環境の変化等に応じてサビ児管として自らが担当者会議（個別支援会議）を開催していますか？

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

開催できていることと、その理由を記入してください

|  |
| --- |
|  |

開催できていないことと、その理由を記入してください

|  |
| --- |
|  |

担当者会議（個別支援会議）が効果的であった実践概要を簡潔に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

今後の目標や、具体的な取り組みについて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

３-４．(自立支援)協議会への参加について

各自治体(や圏域等)に設置されている(自立支援)協議会で取り上げているテーマや地域の課題、審議内容を把握していますか。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ←できていない | 　　　　　　　５割程度できている | できている→ |
| 0 | 　　　　 | 1 | 　 |  | 　 | 2 | 　 |  | 　 | 3 | 　 |  | 4 |  | 　 |  | 5 |  | 　 |  |

協議会への出欠についてチェック欄に✔を入れてください。

□自身が協議会へ参加している　　参加協議会名「　　　　　　　　　　　　　」

□法人、事業所よりどなたかが出席している(出席者　　　　　　　　　　　　　)

　　　　　　　　　　　　　　　　参加協議会名「　　　　　　　　　　　　　」

□法人、事業所からどなたも出席していない

ご自身もしくは、法人、事業所で出席されている方は、取り組みや好事例について内容を記入してください

|  |
| --- |
|  |

出席されていない方は、ご自身の事業所の地域の協議会が、今年度または昨年度主にどのような活動に力を入れているのかを調べて記入ください

|  |
| --- |
|  |

自立支援協議会に取り上げてほしい課題等協議会への思いや、それらの実現に向けてご自身が出来る

具体的な取り組みについて記入してください。

|  |
| --- |
|  |

３-５．社会資源との繋がりについて

　エコマップを作成してください。

事前課題1～4を踏まえて、あなたの事業所や利用者が、地域の一員としてどう地域と関わっている　　　か、関わっていきたいのかを意識して、事業所や利用者が住んでいる地域を整理し把握しましょう。フォーマル、インフォーマルも含みます。自立支援協議会もどのように関わっているのか(関わってほしいのか、関わっていくのか)を考察してください。

|  |
| --- |
|  |